

「元気ショップ」オープン・「ふれあい広場」リニューアルオープンについて

ことし7月から整備を進めてきた「元気ショップ」が12月2日にオープンします。これは、昨年7月の「市長と“おしゃべり”しませんか」での要望がきっかけとなったもので、障がい者が施設や作業所で作った製品を販売するコーナーのほか、障がい者同士で情報交換ができるスペースなどを設け、障がい者の自立と就労を支援していくための場とします。

また、「元気ショップ」の整備に伴い、札幌市の情報発信スペース「ふれあい広場」もその機能を強化すべくリニューアルを進めてきましたが、11月16日から順次供用を開始し、12月2日の「元気ショップ」の開店に合わせて、全部分の供用を開始します。

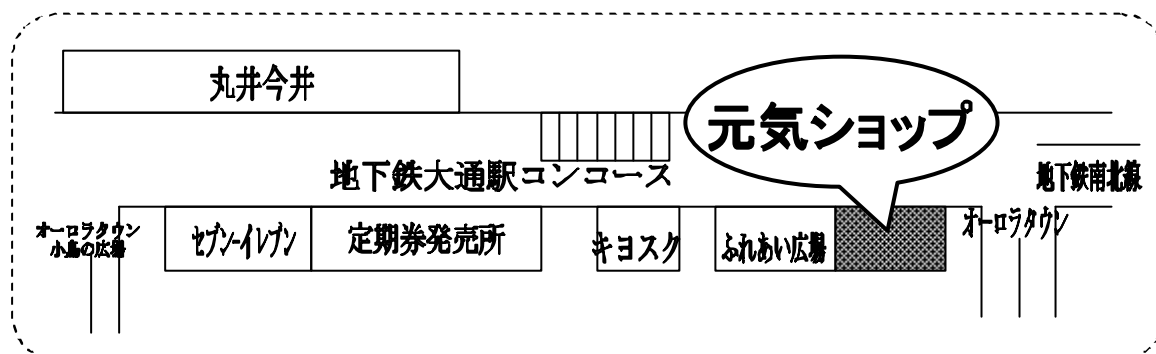
1 「元気ショップ」の概要

(1) 開設の経緯

昨年7月の「市長と“おしゃべり”しませんか」の中で、精神障がいの作業所に通う方から「自分たちが作ったケーキはすごくおいしいので、人通りの多い場所に福祉ショップを作って、もっとたくさんの人に買ってもらいたい」との要望がありました。これを受けて、市内でも人通りの多い地下鉄大通駅コンコース内で整備を進めてきたもので、「障害者週間」(12月3日～9日)を前に開店します。

(2) 開設場所

地下鉄大通駅東西線コンコース内



(3) 営業時間

月～金曜日 午前8時～午後8時
土・日曜日、祝日 午前10時～午後7時
年末年始(12月31日～1月2日)は休業

(4) 販売品目

パン・ケーキ・クッキー等の食料品や手工芸による玩具・日用品など、障がい者が施設や作業所で製作した商品を中心に販売します。

2月末日までは、「世界ノルディックスキー2007」のオフィシャルグッズも販売予定です。

「地域づくりは食おこしから」をモットーに活躍する札幌在住のシェフ・貫田桂一(ぬきた・けいいち)さんに元気ショップの趣旨に賛同いただき、独自の商品「さっぽろ木ベラ」の販売に向け、現在、開発中です。この商品は、カレー・ソテーといった料理に合わせて調理しやすいような形にデザインした木べらです。

(5) 運営委託先

特定非営利活動法人 札幌市障害者小規模共同作業所連絡協議会

2 「元気ショップ」オープン関連行事

(1) 記念式典

日 時：平成 18 年 12 月 2 日(土) 午後 1 時 30 分～

内 容：テープカット、市長・来賓あいさつ、利用者代表あいさつ、内覧会

(2) オープニングイベント

日 時：平成 18 年 12 月 2 日(土) 午後 2 時～

内 容：販売促進品や記念品の配布など

3 「ふれあい広場」のリニューアルの概要

(1) リニューアルの方針

隣接する「元気ショップ」との相互的な活用を図るため、札幌市等からの情報発信機能の強化に加え、市民が待ち合わせなどに利用できる交流スペースを提供します。

(2) リニューアルの内容

- ・ 福祉施設や作業所等でのボランティア募集のお知らせを掲示する「ボランティア掲示板」【新設】
- ・ 札幌スタイル認証商品をPRするための「札幌スタイルショーケース」【新設】
- ・ 市政等に関するパンフレットを配架する「市政パンフレットコーナー」【拡充】
- ・ 近隣市町村のイベント等をパンフレットやポスターでPRする「広域交流コーナー」【拡充】
- ・ 道内市町村の広報誌を閲覧できる「市町村広報誌コーナー」【移設】
- ・ 「さっぽろeビジョン^()」「スポーツ施設予約端末」【移設】

大画面モニター等で、市政情報や市長からのメッセージなどを発信するもので、市内 13 カ所に設置

4 整備概要

施工面積 約 120 m² (元気ショップ：約 52 m²、ふれあい広場：約 68 m²)

総工費 5500 万円

(地下鉄駅構内の基準による防火対策工事を含む)

特 徴 市民からの意見を参考にするとともに、札幌市立高等専門学校の協力を得ながら、多くの市民がふれあうことができるよう「コンコース全体を明るい雰囲気にする」をコンセプトに整備を進めました。

壁を曲面にすることでコンコースとの一体感を持たせたほか、「間接照明を随所に設ける」「使用する色は基本的に札幌の景観色 70 色を用いる」などのさまざまな工夫をしています。

5 その他

オープン前の取材に関しましては、下記の問い合わせ先までご相談ください。

問い合わせ先

保健福祉局保健福祉部障がい福祉課

木俣・菊田 電話 2 1 1 - 2 9 3 6